

1. 涙と笑い 西搭辰之助 オルケスタ・ティピカ・パンパ アルゼンチンのワルツを島明彦が三拍子のタンゴに編曲 3'04"
ダリエソンのナンバーを得意とする当時新進の楽団で若いタンゴファンを着実に掴み人気はうなぎ昇りでした。
2. 悩みの歌 藤原義江 ビクター専属オルケスタ・ティピカ・ビクトル メルセデス・シモーネ 作詞・作曲 2'50"
藤原義江がアルゼンチンを訪れていた時の現地録音、彼のタンゴ調の味のある発生はさすがプロ！という感じ。
女性歌手が作詞・作曲、自らが歌って、女性的な優しいムードに溢れた美しい佳曲と大評判になったそうです。
3. ポエマ 淡谷のり子 アルゼンチン出身のピアンコとメルフィの共作、井田誠一訳詞 松井八郎編曲 3'16"
35年頃から多くの日本人歌手のレコードが出て、淡谷のり子も舞台上で歌っていた 32才の頃の若々しい声が新鮮！
4. 懐かしのブエノスアイレス 渡辺はま子 坂口淳作詞 利根一郎作曲・編曲 都会的センスのある日本発タンゴの傑作 2'31"
5. 散りゆくなでしこ 藤沢嵐子 早川真平 オルケスタ・ティピカ東京 カミニートの作曲家ディオス・フィルベルトの作曲 3'40"
花が咲いては散っていく姿に、美しい恋を得ては散っていく人生を歌った田園的なムード漂う美しいメロディー
6. ラ・クンパルシータ 藤沢嵐子 早川真平 オルケスタ・ティピカ東京 ウルガイのマトス・ロドリゲスの不朽の名作 2'30"
カルバンは少し現代的な感覚をもたせて編曲していますが、タンゴの女王・藤沢嵐子の歌唱力はさすがですね。
7. ジーラ ジーラ 柚木秀子 岡本昭 バンドネオン・トリオ サントス・ディセボロ 作詞・作曲 2'58"
作者は鋭い世間を見透かす視座でタンゴに現実味を授けました。「もうお前にはわかるだろう どうなるうと
見向きもしてくれない世間の冷たさを 全ては嘘 愛は無 世の中に大事なものなんか無い 只回るだけ只回るだけ」
8. 恋人よ永遠に 前田美智子 小沢泰 とオルケスタ・ティピカ・コリエンテス ドナート・ラチアッティ 作曲 2'46"
9. 赤坂の夜は更けて ハウゼ・タンゴ・オーケストラ 恋しい人の名を呟けば逢いたい気持ちは募るばかり 赤坂の世は更けゆく 2'44"
10. 花売り娘(ラ・ビオレデーラ) フランチャーニ とオルケスタ・シンフォニカ スペインのホセ・バディージャ作曲 3'16"
史上最高のタンゴ・ヴァイオリン奏者フランチャーニとスペインの選りすぐりの弦と木管の奏者・総勢 26名の来日公演
11. ブレガリア マランド楽団 エドゥアルド・ピアンコ 作 アルゼンチンとヨーロッパ 両方のムードを持つ田園調タンゴ 3'21"
12. 月下の蘭 マランド楽団 ヴィンセント・ユーマンス 作曲 1933年米映画「空中レヴェー時代」の主題曲 2'47"
映画のダンス場面で登場する有名曲 いわゆるアメリカの良き時代(1920~1950)に作られたアメリカタンゴ
13. 淡き光に フランチャーニ ・オルケスタ・シンフォニカ 楽団リーダー・ヴァイオリン奏者でもあるエドガルド・ドナート作 3'31"
前半のシンフォニック・タンゴらしい演奏と、後半のフランチャーニのヴァイオリン・ソロが、あたり一面、淡い光のきらめきに満ち溢れている状況を、そのまま音で描き出している様な、明るくエレガントな演奏ですね
14. 夜明け ロス・セニョーレス・デル・タンゴ 古典タンゴの巨匠ドナルド・フィルボ作曲 (1914年) 2'39"
タンゴアルゼンティーノ・ポインティエルの演奏も良いのですが、こちらの方がより趣きがあるように感じられました
15. ブエノスアイレスの冬 アストラ・ピアソラ 五重奏団 アストル・ピアソラ 作曲 6'34"
従来のタンゴに飽き足らず、心身ともに幾度もの挫折を繰り返しながらタンゴ革命に命を燃やし続けたピアソラの生涯に在って、2度目の再婚、五重奏楽団の再編後、熱狂的人気を得た高揚期の作品。「ため息が出る程の極上の美しさ、雪のような透明感、そこに同居する重厚感と情熱、沈黙と高揚が共存する。。」三浦氏評. 同感！♡
16. オブレビオン 三浦一馬 &Five Musicians アストル・ピアソラ 作曲 4'23"
「薄霧の中を、肉体から抜け出した魂が彷徨っている様な、切ないまでの美しさを持つ。。」三浦氏評 本当に！♡